

ゆれやすさマップ は、対象の地域に影響の大きいと考えられる地震を設定し、「地震の規模や震源までの距離」と「揺れの強さ」によって「地表面付近の揺れの大きさ」を示したものです。

この「地表面付近の揺れの大きさ」は「地盤の軟らかさ」と密接な関係があり、一般的に地盤が軟らかいほど、表層地盤の揺れは大きくなります。

防府市に特に影響が大きいと推測される地震は、佐波川断層地震と防府沖海底断層地震です。

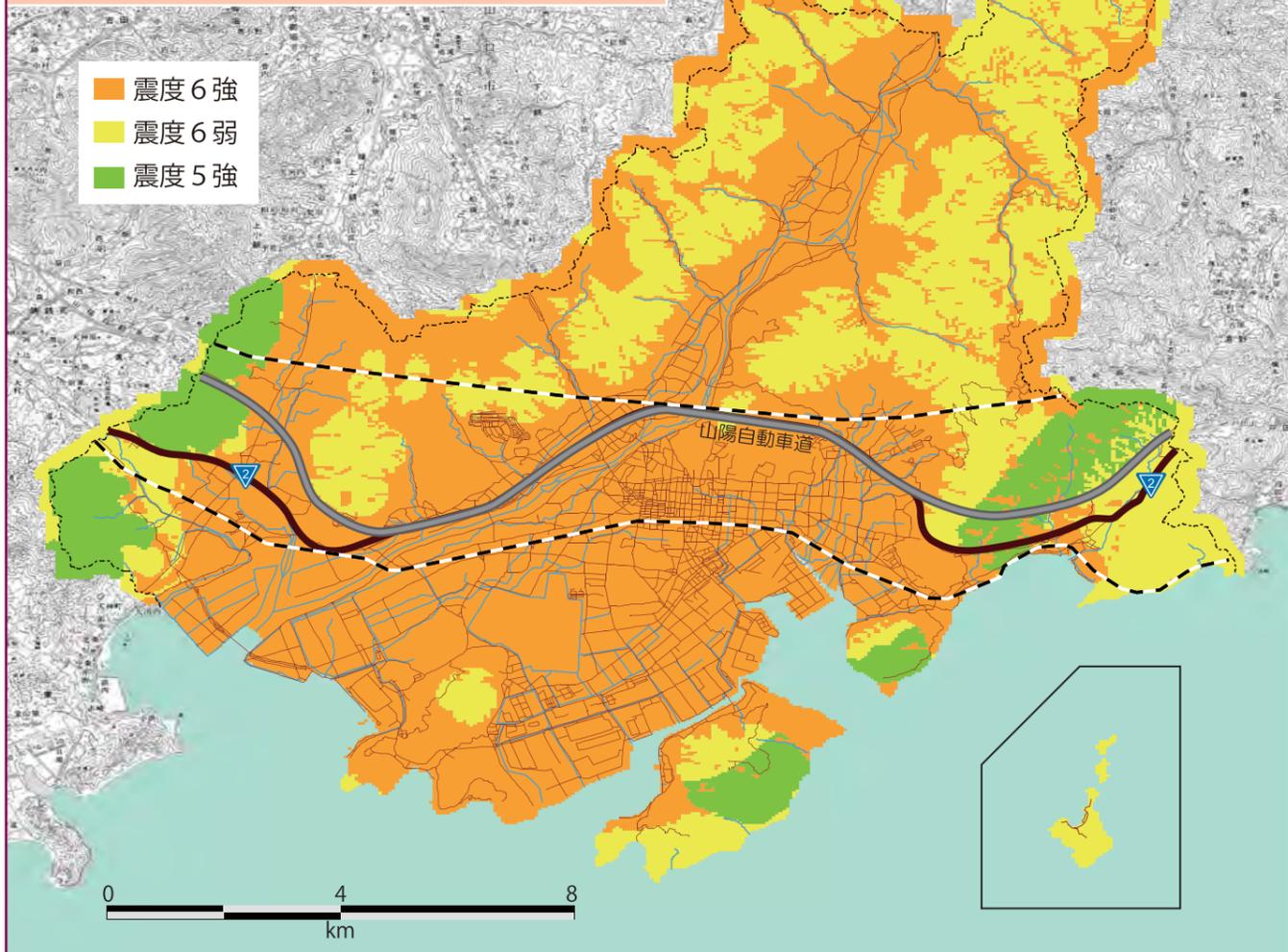
図のように防府市の近くの断層で、大きな被害が予想されています。



佐波川断層地震

佐波川断層地震は、山口県中央部に震源をもつ地震規模M7.4の内陸(地殻内)地震で、防府市内で想定される最大震度は6強です。

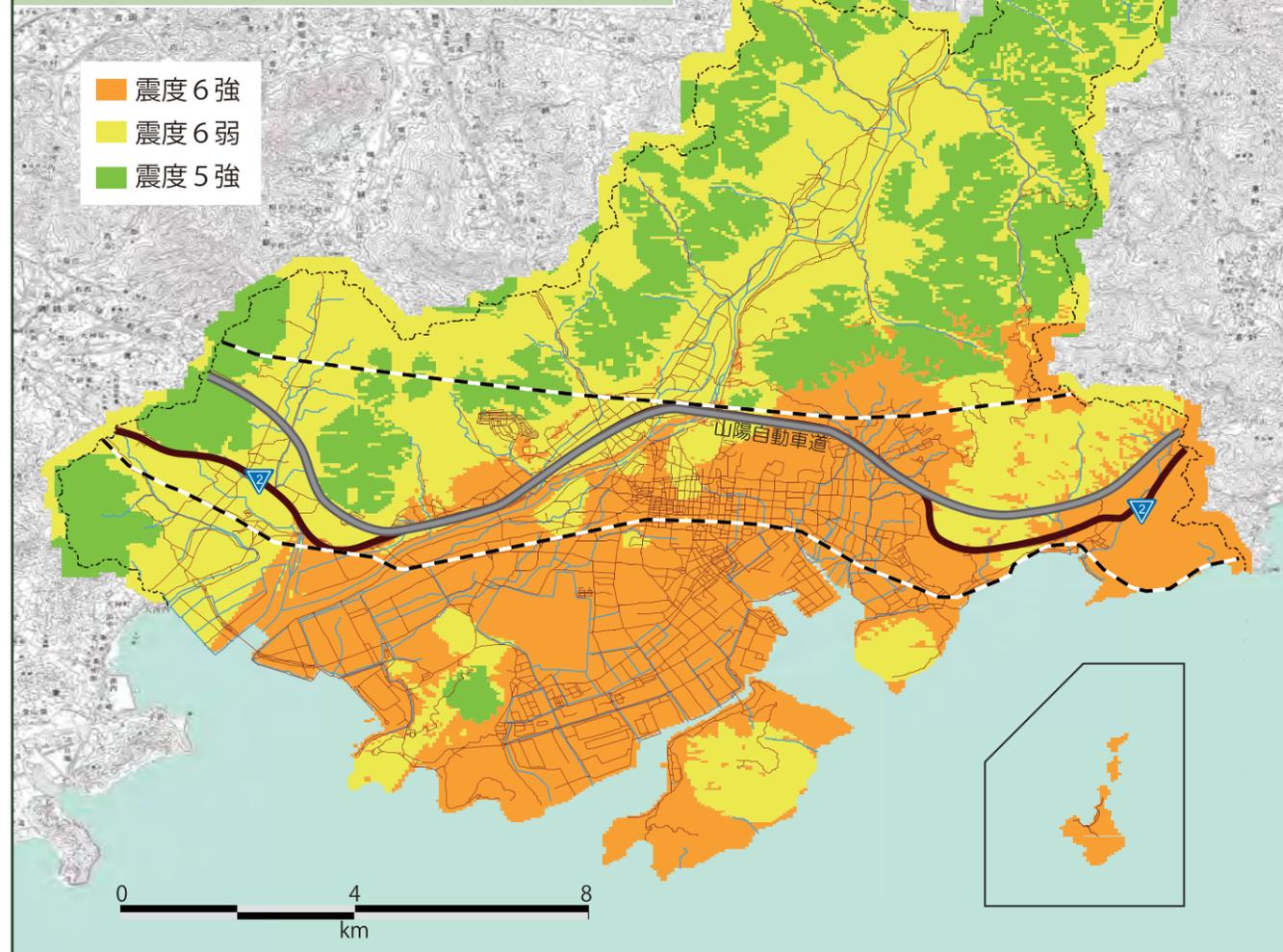
※地震規模M…マグニチュード(地震の発するエネルギーの大きさを表す指標値)



防府沖海底断層地震

防府沖海底断層地震は、防府市沖の瀬戸内海に震源をもつ地震規模M7.6の内陸(地殻内)地震で、防府市内で想定される最大震度は6強です。

※地震規模M…マグニチュード(地震の発するエネルギーの大きさを表す指標値)



震度ごとの影響度

強 ← → 弱

震度階級	震度6強	震度6弱	震度5強
人間	立っていることができなくなる。	立っていることが困難になる。	物につかまらなると歩くことが難しい。
屋内の状況	固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。戸がはずれて飛ぶことがある。	固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。多くのドアが開かなくなる。	棚にある食器類や書棚の本で落ちるものが多くなり、固定していない家具が倒れることがある。
屋外の状況	多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。	かなりの建物で壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。	補強されていないブロック塀が壊れることがある。